

◎ 奈良・人と自然の会

〈わたしたちは大和の自然を愛します〉

【春日山原始林へいらっしゃ〜い】

林 令子

子どもの頃は、日が暮れるまで奈良公園や若草山を我が庭とばかりに駆け巡り、自然にどっぷり浸かった野生児であった。山には学生時代から登り始め鈍行の夜汽車で煙にむせ、煤にまみれながらも信州の山に足繁く通った。この頃は自然を意識し体感する事もなく速く山頂に立つことが課題であった。

一時期は日本山岳会に所属し「何時かはエベレスト、マッターホルン、キリマンジャロの山頂に立つぞ！」との想いを抱いていた。だが現実には厳しく、就職、結婚、子育てと続きほとぼる山への想いを胸に押し込める日々が続く。ようやく子育ても一段落し子ども達に「自己チューおかん」と非難されながらも又山に登り始めた。しかしこの頃からは高山の厳

しい冬に耐え、我々の目を楽しませてくれる花々が真に愛しくなり、カメラに収めると共に、せめて名前でも覚えてやらねばと植物図鑑を持ち歩くようになった。そして仕事や人間関係に悩み、疲れ、ズタズタの心と体の或る日、ふらりと「春日山原始林」に足を踏み入れた。途端に不思議と心と体が軽くなり、安らぎを感じさせてくれた。又、自分の悩みなど何とちっぽけな事よとも、……

「ここが私の山だ！」ここから私の春日山詣でが始まった。その後の私は、憑き物が落ちたように高山に登りたいとは思わなくなった。春はフジ、ヤマザクラ、ギンリョウソウ、クリンソウが咲き、夏は下界より気温は10度程低く、快い涼風が吹き渡り、秋には見事な紅葉のオンパレード、木々のそよぎやせせらぎの響き、小鳥のさえずりが心と体に浸み入る静寂で荘厳な山だ。又、樹木150種、草本598種、野鳥50種と自然が豊かな山でもある。

みなさん、春日山原始林へいらっしゃ〜い
一度と言わず季節を変えて二度、三度と。

私は何時でも春日山で待っています。“やまんば”の如く、……



「新春講演会」

奈良公園の植生 ～遷移と鹿害の視点から～

1 日 時 1月20日(日) 天候・曇りから小雨

2 参加者 豊島・古川・大石・小嶺・小田・守口・岩田・吉村・横井・甲斐野
田中・福谷・小森・篠原・川岸・堀川・三木・林・川井 (19名)

恒例の新春講演会は、元天理高校教諭 森本 範正 氏を迎え、春日原始林の山麓周辺をフィールドとして、野外レクチャーを‘通し、で行いました。

この日、低気圧の通過で天気は下り坂、午後は雨から雪との予報でしたが、降雨率20%⇒50%を信じて、予定通りの実施となりました。

不安定な予報にも拘わらず、19名の方々が防寒装備を万全に集合。中央公会堂 浅茅ヶ原を起点にスタート。前方に春日原始林・若草山、右に御蓋山、左に三笠山と連山を一望する。今日のテーマは温暖帯では希少な照葉樹林「春日原始林」が守られるか？である。遷移(陰樹林⇒裸地⇒草原⇒陽樹林⇒陰樹林)の正常な自然サイクルが乱れ、帰化植物が勢力を強め、植生基盤を侵しつつあると言う。

帰化植物のナンキンハゼ(陽樹)、神の木であるナギ(陰樹)に代表される侵食が進んでいる。本来、倒木(台風・寿命)によって出来る空間(ギャップ)には陽樹(カラスザンショウ・ムクロジ・ウリハダカエデ・アカシデ等々)が入りこむが、殆ど鹿の食害によって消滅し、後継樹が育たない。

森本先生の熱っぽく丁寧な語調の中に、解決策の無い現状の、怒りと諦観が読み取れる。神鹿の駆除は出来るのか。観光目当ての紅葉樹「ナンキンハゼ」の植林は是か非か。自然林の保護は無策で良いのか。100年後、春日の連山がナンキンハゼの紅葉に染まる景観を、人々はどんな目で観るのだろうか。

今日のレクチャーを終えて突飛な話だが、鹿がテロリストに(誠に不謹慎だが)見える。陰樹と陽樹のせめぎ合いを、強者と弱者の戦いとするならば、世界経済に台頭するBRICS(中・印・ブラジル)に翻弄される日本の姿がオーバーラップする。

世界遺産として誇示する古都・奈良。悠久の文化と共に、掛け替えのない大自然を後世に残したいものである。自然に対する優しさを、人間社会のエゴイズム、人間の不遜が忘れる様では、余りにも悲しい。

最後に、お世話願った三木 正明 氏。裏方に徹していただいた林 令子 さんに拍手を送ります。ありがとう御座いました。

ならやまプロジェクト・レポート 20年 1月



1月10日(木) 快晴 参加者18名(内会員17名 非会員1名)

新年初出は上々の天気。冒頭、川井会長より年賀の挨拶。「ならやま里山林整備事業の順調な滑り出しを祝い、多くの可能性を秘めた素晴らしいフィールドを得て、会員各位が健康で心豊かに活動されることを希望する」と。 10時活動開始。

E 地区の里山の観察路 (1月～3月)

ルートを設定の取っ掛かりとして、地形図を頼りに、消えた里道跡をたどる。標高差約50m程度のなだらかに起伏するコナラ林は、里山観察と山遊びにはぴったり。山歩きのベテランたちが、踏査してコースのあらましを選定。次回以降の活動のなかで、枯・倒木や下草類など観察路の整備計画を検討する。

田圃跡地の笹藪の除伐 (1期)

里山観察路と共に、冬季のメインテーマであるが、中々の難物。濃密に生えた矢竹類が、刈払い機も撥ね返す手ごわさ。おまけに茂みの中は、家電製品、衣類、下着類など様々な放棄ごみがどっさり。現代人の無責任な心の裏側が見えるようで浅ましくも情けない。とにかく、この場所はならやま里山林の恥部とも謂うべき所、辛抱強く継続的に取り組むつもり。

冬の菜園、果樹園作業

大根の収穫、立派なものもみすばらしいのも皆で分けて持ち帰る。なんといっても無農薬なのだから。おまけに味も中々との評判も。畑作業は、エンドウ棚の防寒わらの取り付け、ホーレンソウの霜除け用のパオパオをべた張り、畝の寒曝しなど。

果樹園には、皆さん持参のイチジク、オニグルミの苗木やフジウツギを植付ける。樹木には、篤志家による名札掛けが始まる。この区画は2～3年もすれば野趣溢れた場所となるかも知れない。 ちょっと重いダイコンと、快い疲れをみやげに3時解散、

1月19日(土) 快晴 参加者29名(内会員19、ビジター2、奈良コープ8)

活動を重ねるたびに仲間が増えてくるのが、心強い。今日もビジター2人に加えて、ならコープの菜の花プロジェクトの人達8人、総勢29名となる。10時、賑やかに活動開始。

B 地区の竹藪

昨年中の作業ですっきりした竹林に生れ変わったが、隣接の雑木林に拡大した竹の除伐にかかる。後2～3回の活動日で完了の見込み。

田圃跡の笹藪

難物の笹藪の刈取りには6人が挑戦した。刈り手、運びだし手、放棄ごみ処理とタッグを組んで動く。なかなかハードだが、お互い励ましあいながらのチームプレーに、次第にペースが掴めてくる。一日の苦闘の末、思いのほか捗った実績を仲間に誇示するメンバー達。とにかくご苦労さん。イヤー よくヤッタ! でも、エラカッタ!

里山観察路開拓

作業内容とスケジュールを設定するための詳細調査を継続。山中では、キンラン・ギンランの集落を見つけた、との報告もあり、今後もいろいろな発見が期待できそうだ。

今日もまた好天に恵まれた。温かい冬日和に感謝しつつ、3時解散

(古川祐司 記)



「キジバト」

小田 久美子

11/26 法隆寺の南大門で季節はずれのヒナ?の声に惹かれて梁を見上げると、粗末な巣材の端が見えました。傍には親と思しきキジバトのペア。ご存知と思いますが、ハトの仲間は高カロリーなピジョンミルクと云われるものを子供に与えて年中繁殖出来ます。私の子育ての頃には『ピジョン』と云う



哺乳瓶のメーカーがありました。ここから取った社名だったとはその頃は知りませんでした。今もこの会社があるのか孫のいない私は知りません。昔は「ヤマバト」と呼ばれ、冬里に降りてきていましたが、近年は通年見られ人を恐れなくなりました。同じ仲間の「ドバト」は日本ではお堂でよく見るので「お堂バト」。糞害で文化財が傷むと云われて久しい鳥です。中近東にいたカワラバトを飼いならし古くから伝書鳩としました。ゆえに、野鳥の会では「野鳥」として認めて貰えませんでしたし、形見の狭い身分でしたが、飼い鳥ではないからと最近ではカウントされるようになりました。

自然俳句欄

年迎ふ造化のひかり人もまた 川井 秀夫

「造化」とは自然・万物の意。人との共生を願う。

「人と自然の会」もこの精神性を大事にしたい。



★1/4 水上池に「ケアシノスリ」が出ました。

今年は猛禽類の目撃情報が結構多いですから、探鳥会も楽しみです。(2/22) (小田)

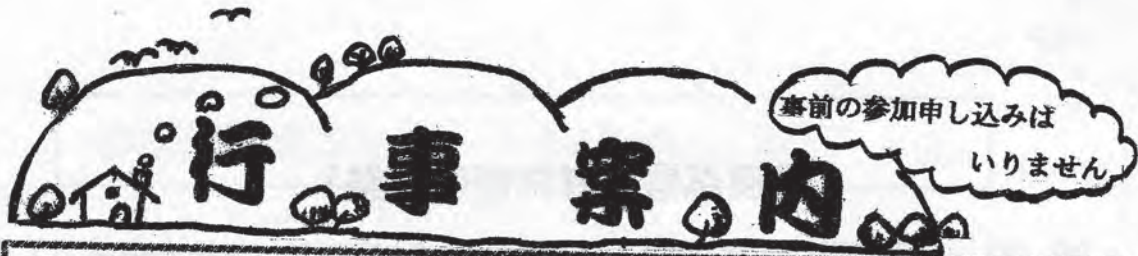
★(檀原) 昨年末からちらほらと甘い香りとともに咲きはじめていたロウバイが満開です。なかなか葉が落ちなくていつになったら落葉するのかと思っていましたら花の満開に合わせる様にはらはらと散っていきました。

今は落ちた黄色い葉と満開の黄色い花でそこだけ「春」がきたようです。(齋藤)

★(斑鳩より) 今年はずグミ(最高60)が多いです。シメもよく見ます。1/18オカヨシガモ(10羽)

1/25三室山でルリビタキ(♀)を見ました。2年ぶりです。

竜田川のダツ君(カルガモとマガモの雑種 7才位・竜田川の主です)は自分の縄張りに入ってくるマガモを威嚇し、つついて追い出していました。この冬は堤防や河原にしゃがんで草を食べていて、一度も川の中に入っていません。弱って来たのかと心配しています。1羽でいることが多いですが、ガーちゃんが側にいることも何度か見たので安心しました。(勝田)



原則 前日の午後7時前のNHK天気予報で降水確率(午前)60%以上の場合は中止

『ならやま里山林プロジェクト2月の予定』

場所 奈良市奈良坂町・佐紀町の県有林 (JR 平城山駅下車徒歩10分)
—「ならやま会館」前の道路(ならやま大通り)の南側に広がる林地—

日時 2月7日(木)、23日(土) 一般活動日
2月29日(金) 山整備作業日
(いずれも 10時集合、終了予定3時)

集合 現地ベースキャンプ地 マイカー7~8台の駐車可

交通 ①近鉄奈良駅 バス13乗場9:36発 高の原行

②近鉄高の原駅 バス1番乗場9:38発 JR奈良行

①②とも佐保台西口、または平城大橋下車 徒歩約7分

携行品 弁当、飲み物、防寒具、軍手 (用具は現地に用意しています)

活動内容

里山林整備、遊歩道整備・放置田跡の笹刈、 畑手入れ、花植栽地整備

冬季(1~3月)の里山整備作業日の増加について

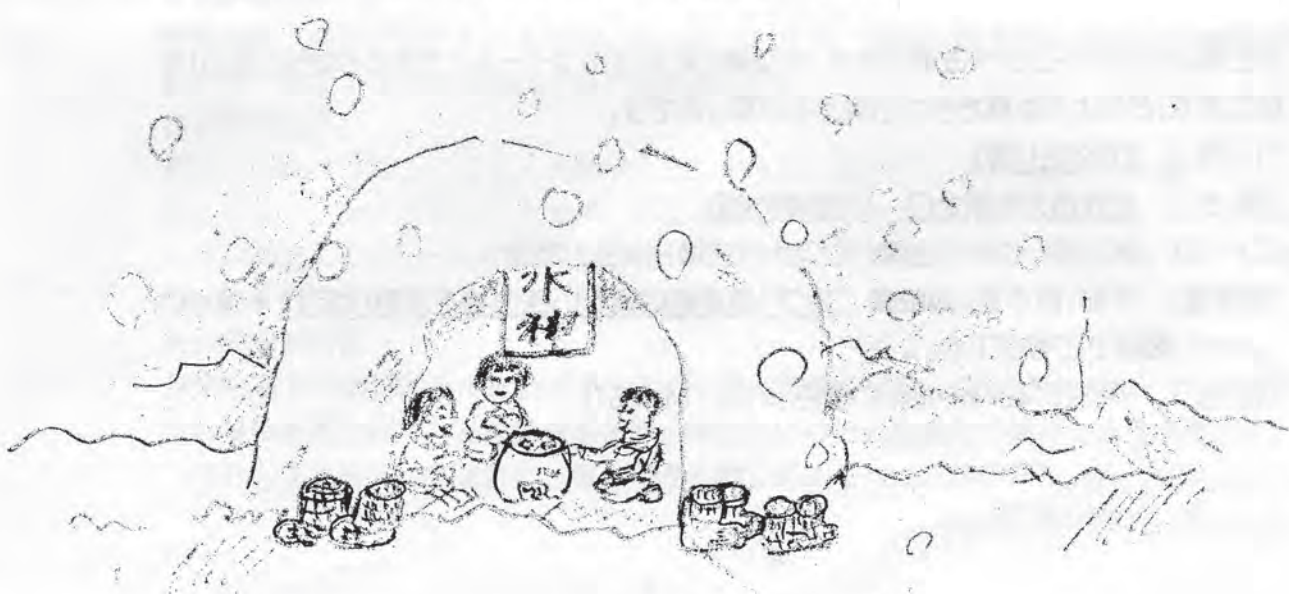
山作業は冬場に重点的に行いますので、各月末(通常月の予備日)を、冬季に限り、
里山整備のための活動日として追加します。

花畑作り募集

この景観にふさわしい花畑を作りたいと思っています。やりたい方を募集します。また、山野草類の育成についてアイデアや苗をご提供下さい。また果樹の苗などもいただければ幸いです。

(問合せ先 古川

小嶺



【奈良忍辱山森林整備作業】

- (場 所) 奈良市忍辱町、国有林二次林(忍辱山円成寺駐車場)より徒歩10分
(集合場所) 国道369号線 忍辱山円成寺駐車場
(奈良交通バス停 円成寺口と忍辱山円成寺の間)
- (日 時) 2月15日(金)
【集合時間10:10。終了予定Pm2:45ころ】
- (天 候) NHK天気予報 (前日PM7時前)60%以上中止します。
- (交 通) 奈良交通バス 近鉄奈良駅前バス乗り場④番 9:40 柳生・月ヶ瀬温泉行き
- (持ち物) 作業のできる服装、昼食、飲み物、手袋、
各種用具は、準備していますが、お手持ちのものあれば持参ください。
作業のしやすい季節です。ご参加お待ちしております!!

作業報告 20年1月15日 新年初めての作業 7名の参加、ベースキャンプの椅子にある粉雪は終日融けることがなかった。昼食 弓場さん特製の「ふかひれスープ」が体を温めてくれる。それでも休憩を早々に打ち切り作業に取り掛かった。「ケヤキ」と思われる枯死寸前の危険木を全員で処理した。見事な年輪、つやのある木口、僅か枝先に残る新芽のふくらみなどを観察 長い年月の「生」に思いをはせた。僅かに生きていた先端を持ち帰り守口さんが樹種を再調査され「ヤシャブシ」であると教えていただいた。斜面の整備を進め3時前に終了とした。



2月度例会「野鳥観察会」

水上池、ウフナベ・コナベ古墳のほか、今回新たに当会のフィールドである「なら山里山」を訪ねます。どのような鳥たちに出会えるか楽しみです。

〔日程〕 2月22日(金)

〔集合〕 近鉄西大寺駅北口 午前9時30分

〔コース〕 水上池—コナベ古墳—ウフナベ古墳—なら山里山

〔準備物〕 弁当、飲み物、双眼鏡、コップ(昼食時に暖かい飲み物を用意します)*暖かい服装でご参加下さい。

<3月の予定>

三月オプション企画

梅 咲 き 誇 る

月ヶ瀬探勝



梅林を愛で、温泉で寛ぎませんか

名勝月ヶ瀬梅林へ混雑を避け専用バスで訪れます。ご存知の名勝をゆったりと眺め、新しい発見をなさってください。長い歴史を持つこの地区の「春告草」は、「例年より早く咲くであろう」という地元のお話により3月はじめの探勝としました。お誘いあわせてのご参加お待ちしております！！

- 日 時 平成20年3月7日(金) 小雨決行
集合場所 近鉄奈良駅前 行基菩薩像 AM9:20分集合 9:30分出発
予約申し込み 25名先着順 事前に阿部までFAXまたはTELにて申し込みください
「貸し切りバス」でゆったりと座ってゆきます(¥3,000円)
持ち物 ハイキングスタイル、昼食、飲み物、手袋など
コース 桃香野バス停下車→龍王の滝→八幡橋(きれいな吊り橋)→月ヶ瀬橋→天神社→真福寺→八王神社→梅の里 月ヶ瀬温泉広場→“やぶっちやランド島ヶ原温泉”
→PM3:20ころバスにて近鉄奈良駅へ
—およそ7キロ弱の行程です—

、 境 寛

3月度例会「早春の山辺の路」

★詳細は会報第74号<3月号>でお知らせします。

—柳本から桜井まで—

【日程】 3月15日(土)

【担当】

協力活動「いこま棚田クラブ」2月活動日 ご案内

活動日…2・3(日)、2・11(月)、2・17(日)、2・25(月)

水車が出来上がり通水成功しました。2月は、椎茸の「ホダ木」づくりをします

25日は里山整備です(里山整備 初めての方も歓迎・用具準備しています)

集合場所: 近鉄生駒駅下車 南口側ケーブル駅西隣セブンイレブン前

集合時間: 9時 現地までタクシー他分乗で移動。

持ち物: 飲み物、弁当、作業スタイル

平成 20 年 1 月度幹事会議事録

日 時 平成 20 年 1 月 22 日(火) 13:30~16:30

場 所 奈良県女性センター 出席者 11 名 司会 岩田 記録 北

I. 会長年頭挨拶

この会は 7 年目を迎え基盤がしっかりした。これまで既存のフィールドを平面的に拡げて来たが、今後は垂直指向で活動を掘り下げて行きたい。なら山…今までの活動を充実させると共に、県買収予定地の整備構想、昆虫・野鳥・植生調査、地域連携のイベント開催、ビオトープ形成など新しい活動に取り組む。忍辱山…継続し次の活動を申請 自然工作…各方面の活動を昨年に増して頑張る 会員研修…秋の 1 泊研修好評今年も実施、3 ヶ月に 1 回ミニトーク教室実施も考える。その他…助成金の申請、新会員の勧誘、行政の連携もしっかりやってゆく。

II. 報告事項

- ①会員動向 会員 94 名 現金残高 57,238 円
- ②新春講演会 森本先生の春日原生林を遷移と鹿害から見た野外でのレクチャー好評
- ③奈良忍辱山森林整備事業 1 月 15 日 参加者 7 名
- ④なら山プロジェクト 1 月 10 日 参加者 18 名 里山ルート決定 笹藪の放棄物整理等
1 月 19 日 参加者 29 名 笹藪刈り初日にしては能率よく成果有
今後基部と考えている第 1 工区の整備を進めてゆく。
- ⑤生駒棚田クラブ 予定通り活動 12 月 6 日地元の人との意見会、12 月 24 日収穫祭兼ねた忘年会 生駒市環境シンポジウムにパネル展示

III. 確認事項

- ①進路説明会 パネル、資料で活動内容説明
- ②定例行事の確認 2 月 22 日 野鳥観察会 9:30 西大寺北口集合
3 月 7 日 オプション企画 月ヶ瀬梅林 マイクロバス準備
3 月 15 日 「山の辺の道」 柳本から桜井 早春の山の辺
- ③その他
 - ・奈良 NPO センターに会として入会
 - ・会則、保険の内容再度会員に配布
 - ・4 月から教育認定事業を申請
 - ・なら山への進入路標識考える
 - ・非会員の活動参加はルール遵守と、継続参加者には入会をお願いします。

編集担当：勝田 均

TEL&FAX

【当会の行事における傷害事故等については個人負担とし、当会は賠償等一切の責任は負いません】

奈良・人と自然の会事務所

会長 川井 秀夫